

# 令和6年度 新潟県胃がん検診精度管理調査結果

## 1 全体概要

### (1) 調査目的

がん検診の効果を得るためにきわめて重要な精度管理について、適切な実施状況を把握するため、新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会胃がん・大腸がん検診部会が行ったもの（注：職域検診や人間ドックは本調査の対象外）

### (2) 調査対象

胃がん住民検診を行っている県内の全市町村、検診機関（病院、診療所等を含む）

### (3) 調査内容

#### ① 検診実施体制

- ・「がん検診事業評価のためのチェックリスト」による遵守状況調査  
各機関が遵守すべき精度管理の要点を定めた「胃がん検診のためのチェックリスト」の遵守状況に関する調査

#### ② 精度管理指標

- ・各市町村が集計した精度管理指標（プロセス指標）の数値（令和4年度分）※  
胃がん検診の精度指標のうち、5項目を選び市町村ごとに調査  
※ 指標の確定までに1年以上かかるため、令和4年度分についての調査

## 2 「がん検診事業評価のためのチェックリスト」による遵守状況調査

### (1) 概要

平成20年3月「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）」（厚生労働省）において示された、各機関が遵守すべき精度管理の要点を定めた「胃がん検診のためのチェックリスト」の遵守状況に関する調査

### (2) 評価基準（下表参照）

チェックリストの非遵守項目が少ない順に段階評価を行い、「C」評価以下の検診機関・市町村には改善を依頼

評価基準		チェックリストの非遵守項目数による評価 ※	
		検診機関 胃部エックス線検査27項目 胃内視鏡検査22項目	市町村(53項目)
A	チェックリストをすべて満たしている	0	0
B	チェックリストを一部満たしていない	1～6	1～8
C	チェックリストを相当程度満たしていない	7～12	9～16
D	チェックリストを大きく逸脱している	13～	17～24
E	チェックリストをさらに大きく逸脱している	—	25～32
F	チェックリストをきわめて大きく逸脱している	—	33～
Z	調査に対して回答がない	無回答	無回答

※ 検診機関は5段階、市町村は7段階の区分で評価

### (3) 調査結果

#### ① 検診機関

ア 胃部エックス線検査 集団検診：11 施設 回答率：100%

…評価 C 以下：なし

検診機関名	評価	検診機関名	評価	検診機関名	評価
新潟県保健衛生センター	A	上越地域総合健康管理センター	A	湯沢町保健医療センター	B
新潟県労働衛生医学協会	A	厚生連村上総合病院健診センター	A	南魚沼市立ゆきぐに大和病院	B
一般財団法人下越総合健康開発センター	B	厚生連長岡中央総合病院	A	厚生連糸魚川総合病院	B
柏崎市刈羽郡医師会 柏崎メジカルセンター	A	山北徳洲会病院	A		

イ 胃部エックス線検査 個別検診：65 施設 回答率：63.1%

…評価 C：1 施設、無回答：24 施設

評価区分	A	B	C	D	Z	計
検診機関数	23	17	1	0	24	65
(構成比)	(35.4%)	(26.2%)	(1.5%)	(0.0%)	(36.9%)	(100.0%)

ウ 胃内視鏡検査 個別検診：141 施設 回答率：80.9%

…評価 C：なし、無回答：27 施設

評価区分	A	B	C	D	Z	計
検診機関数	79	35	0	0	27	141
(構成比)	(56.0%)	(24.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(19.1%)	(100.0%)

## ② 市町村

ア 胃部エックス線検査 集団検診：実施市町村 30

(評価 A：15、B：15、C以下：なし)

イ 胃部エックス線検査 個別検診：実施市町村 1

(評価 A：0、B：1、C以下：なし)

市 町 村	検診種別の評価		市 町 村	検診種別の評価		市 町 村	検診種別の評価		市 町 村	検診種別の評価	
	集団	個別		集団	個別		集団	個別		集団	個別
村 上 市	B	—	阿 賀 町	A	—	出 雲 崎 町	A	—	刈 羽 村	A	—
関 川 村	B	—	三 条 市	B	—	小 千 谷 市	A	—	上 越 市	B	—
粟 島 浦 村	B	—	燕 市	A	—	魚 沼 市	A	—	妙 高 市	B	—
新 発 田 市	A	—	加 茂 市	B	—	南 魚 沼 市	B	—	糸 魚 川 市	B	—
阿 賀 野 市	B	—	田 上 町	A	—	湯 沢 町	A	—	佐 渡 市	B	—
胎 内 市	B	—	弥 彦 村	B	—	十 日 町 市	A	—	新 潟 市	B	B
聖 籠 町	A	—	長 岡 市	A	—	津 南 町	A	—			
五 泉 市	B	—	見 附 市	A	—	柏 崎 市	A	—			

ウ 胃内視鏡検査 個別検診：実施市町村 2

(評価 A：1、B：1、C以下：なし)

市 町 村	検診種別の評価
	個別
胎 内 市	B
新 潟 市	A

3 胃がん検診精度管理指標調査（令和4年度）

（1）概要

前述の「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）」における胃がん検診の精度管理指標のうち5項目を選び、市町村毎に調査を実施

（2）調査項目と特徴

NO.	調 査 項 目	算 出 式	数値目標 (国報告書に 記載がある もの)	特徴	
				人口構成や 継続受診者の 比率の影響を 受けるもの	その他
①	受 診 率	受 診 者 数 ／ 対 象 者 数	—	○	・市町村間比較を行うために、算出式の分母・分子ともに国民健康保険被保険者数で計算
②	要 精 検 率	要 精 検 者 数 ／ 受 診 者 数	○	○	・許容値11%以下
③	精 検 受 診 率	精密検査受診者数 ／ 要 精 検 者 数	○	—	・精度評価の最重要指標 ・新潟県の目標値は100%、許容値は70% (70%以下の市町村には改善を依頼)
④	胃 が ん 発 見 率	が ん で あ っ た 者 ／ 受 診 者 数	○	○	・許容値0.11%以上 ・受診者が数千人規模の小規模自治体は年度変動が大きい ため3か年平均で算出
⑤	陽 性 反 応 適 中 度	が ん で あ っ た 者 ／ 要 精 検 者 数	○	○	・許容値1.0%以上 ・受診者が数千人規模の小規模自治体は年度変動が大きい ため3か年平均で算出

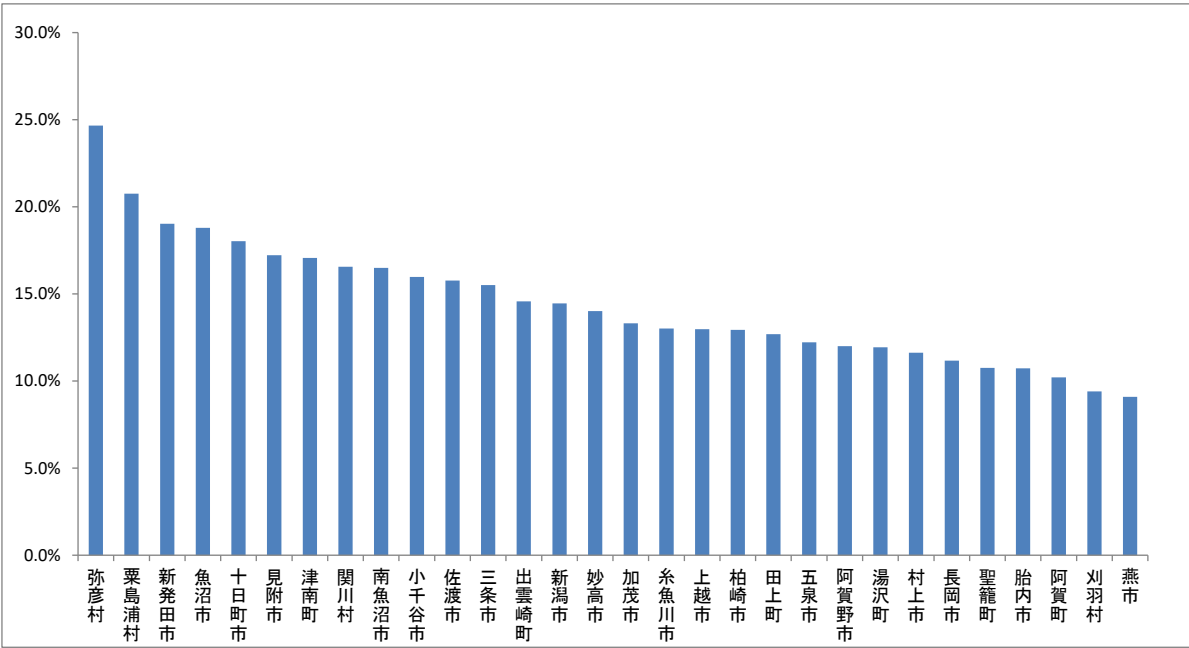
（3）調査結果

① 受診率

・胃がん検診の対象者のうち、受診した者の割合

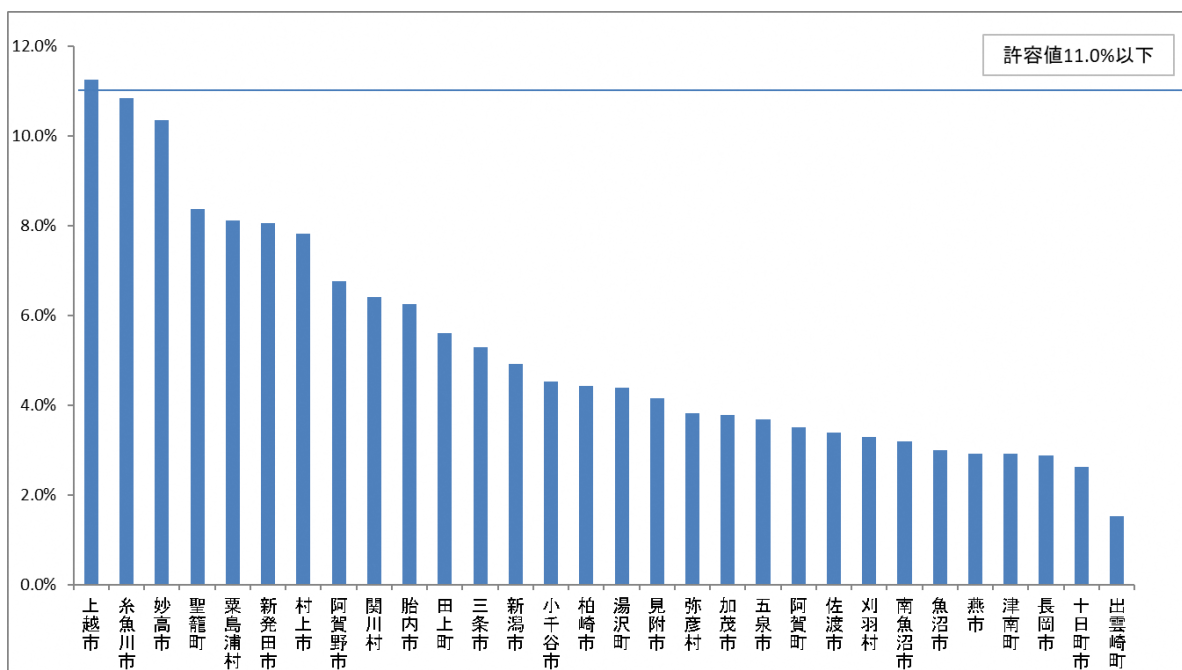
〔対象者数計算式〕

市町村事業におけるがん検診受診者のうち国民健康保険被保険者÷国民健康保険被保険者  
（「がん検診受診率等に関するワーキンググループ報告書（H28.9・厚生労働省）」における  
計算式（市町村間で比較可能ながん検診受診率（第1指標））



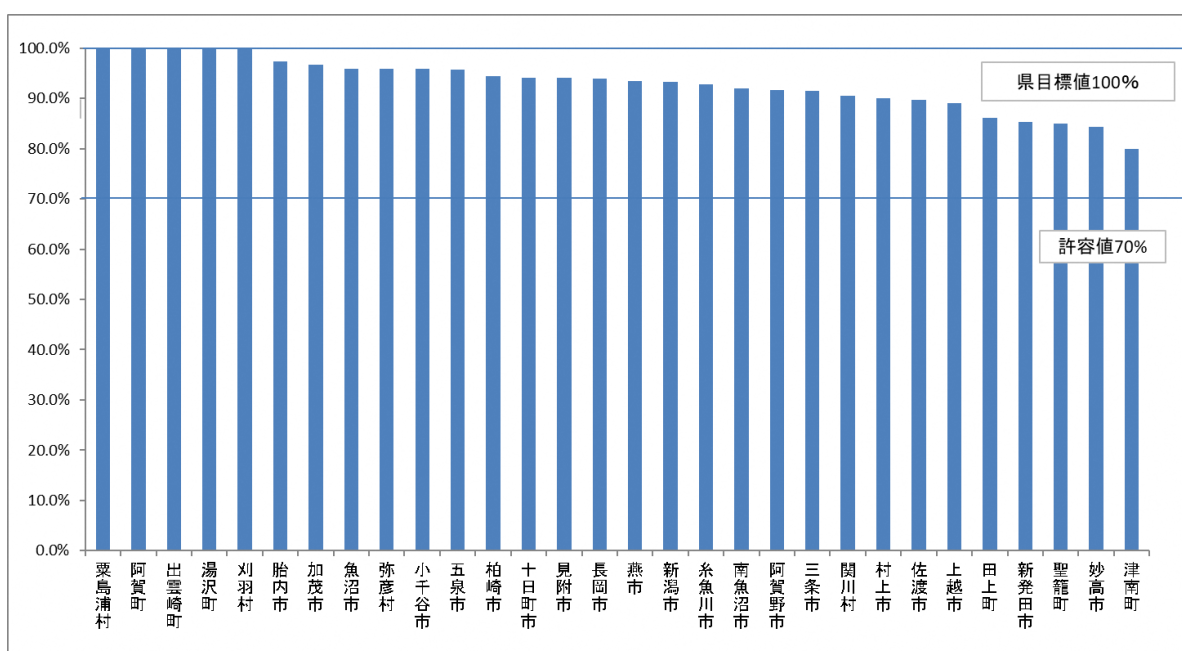
## ② 要精検率

- ・受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合
- ・0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい。
- ・許容値は 11.0%以下（受診者 100 人中要精検が 11 人以下）



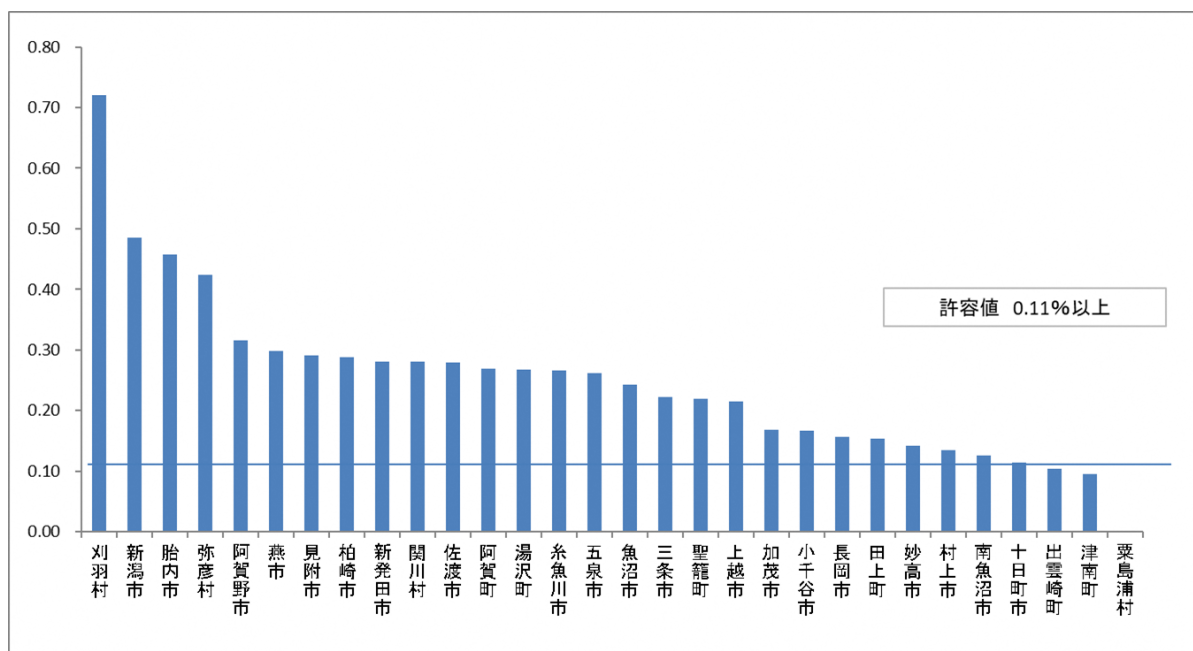
## ③ 精検受診率

- ・「要精密検査」とされた者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合
- ・がん検診の精度評価の最重要指標と位置付けられており、100%に近い方が望ましい。
- ・新潟県では目標値 100%（国は 90%）、許容値 70%以上としている。



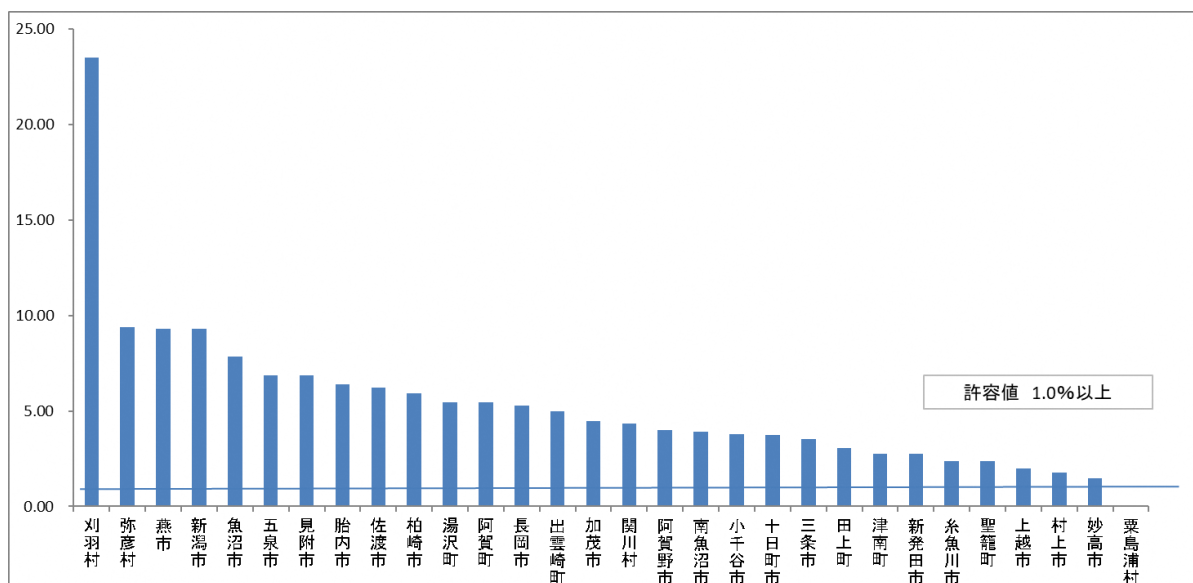
#### ④ 胃がん発見率

- ・受診者のうち胃がんが発見された者の割合。ある程度高い方が望ましい。
- ・許容値は 0.11%（受診者 1 万人で 11 例の胃がん発見）以上だが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもある。



#### ⑤ 陽性反応適中度

- ・「要精密検査」とされた者のうち、実際に胃がんがあった者の割合。ある一定の範囲内にあることが望ましい。
- ・許容値は 1.0%以上だが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもある。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
検診機関：胃がん検診【胃部エックス線検査】精度管理調査	ン新 タ潟 県 保 健 衛 生 セ	学新 協潟 会県 労 働 衛 生 医	タ総一 ー合 般健 財団 開法 免人 セン 越	ン会 タ柏 崎市 刈 メジ 羽都 カル 医セ 師	管上 理越 セ地 ン域 ター 総合 健康	院厚 健生 診連 セ村 ン上 ター 合病	合厚 生院 連長 岡中 央綜	山北 徳洲 会病 院	ン湯 タ沢 ー町 保 健 医 療 セ	に南 大和 沼市 病立 院立 ゆき ぐ	病厚 院生 連糸 魚川 総合	機「 関集 計団 」県 内 検 診
	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	11
1. 受診者への説明（検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明）												
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを説明しましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(2) 精密検査の方法について説明しましたか。（胃部エックス線検査の精密検査としては胃内視鏡検査を行うこと、及び胃内視鏡検査の概要など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか。（※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能（個人情報保護法の例外事項）として認められています。）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(4) 検診の有効性（胃部エックス線検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけれられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の不利益について説明しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(5) 検診間隔は2年に1回であり※、受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか※ただし当分の間、胃部エックス線検査については、年1回受診しても差し支えありません。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(6) 胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
2. 問診、胃部エックス線撮影の精度管理												
(1) 検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査としましたか。（ただし受診者が、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のうち、胃部エックス線検査を選択した場合）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(2) 問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(4) 胃部エックス線撮影の機器の種類を仕様書※で明らかにし、撮影機械の基準は日本消化器がん検診学会の定める仕様基準(注)を満たしていましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(5) 胃部エックス線撮影の枚数は最低8枚※とし、仕様書にも撮影枚数を明記していましたか※※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(6) 胃部エックス線撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式(注)によるものとし、仕様書に体位及び方法を明記していましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(7) 胃部エックス線撮影において、造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に（180～220W/VAの高濃度バリウム、120～150mlとする）保つとともに、副作用等の事故に注意していましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(8) 胃部エックス線撮影に携わった技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	9
(9) 自治体や医師会等から求められた場合、胃部エックス線撮影に携わった技師の全数と日本消化器がん検診学会認定技師数を報告しましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
3. 胃部エックス線読影の精度管理												
(1) 自治体や医師会等から求められた場合、読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数もしくは総合認定医数を報告しましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	10
(2) 読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医でしたか。	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	7
(3) 必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影していましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(4) 胃部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(5) 胃部エックス線による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
4. システムとしての精度管理												
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされたか（市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば「はい」と回答してください）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(3) 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※（内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会※（自施設以外の胃がん専門家※※を交えた会）を設置していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	9
(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
(7) 都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11
遵守されていない項目数	0	0	1	0	0	0	0	0	2	4	2	
R6評価結果	A	A	B	A	A	A	A	A	B	B	B	
R5評価結果	B	A	B	A	A	A	A	B	B	B	B	
R5順守されていない項目数	1	0	1	0	0	0	0	5	2	5	2	
遵守されていない項目数の差：R6-R5	-1	0	0	0	0	0	0	-5	0	-1	0	



検診機関：胃がん検診【胃部エックス線検査】精度管理調査（個別）	（実施割合）
1. 受診者への説明（検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明）	
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを説明しましたか。	62%
(2) 精密検査の方法について説明しましたか。（胃部エックス線検査の精密検査としては胃内視鏡検査を行うこと、及び胃内視鏡検査の概要など）	63%
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか。（※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能（個人情報保護法の例外事項）として認められています。）	60%
(4) 検診の有効性（胃部エックス線検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の不利益について説明しましたか	63%
(5) 検診間隔は2年に1回であり※、受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか※ただし当分の間、胃部エックス線検査については、年1回受診しても差し支えありません。	63%
(6) 胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか。	62%
2. 問診、胃部エックス線撮影の精度管理	
(1) 検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査としましたか。（ただし受診者が、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のうち、胃部エックス線検査を選択した場合）	63%
(2) 問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか。	63%
(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか。	63%
(4) 胃部エックス線撮影の機器の種類を仕様書※で明らかにし、撮影機械の基準は日本消化器がん検診学会の定める仕様基準（注）を満たしていましたか	63%
(5) 胃部エックス線撮影の枚数は最低8枚※とし、仕様書にも撮影枚数を明記していましたか※※	62%
(6) 胃部エックス線撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式（注）によるものとし、仕様書に体位及び方法を明記していましたか	63%
(7) 胃部エックス線撮影において、造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に（180～220W/V%の高濃度バリウム、120～150mlとする）保つとともに、副作用等の事故に注意していましたか。	63%
(8) 胃部エックス線撮影に携わった技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していましたか。	37%
(9) 自治体や医師会等から求められた場合、胃部エックス線撮影に携わった技師の全数と日本消化器がん検診学会認定技師数を報告しましたか。	45%
3. 胃部エックス線読影の精度管理	
(1) 自治体や医師会等から求められた場合、読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数もしくは総合認定医数を報告しましたか。	57%
(2) 読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医でしたか。	57%
(3) 必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影していましたか。	62%
(4) 胃部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか。	62%
(5) 胃部エックス線による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	62%
4. システムとしての精度管理	
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされましたか（市区町村を介して受診者に結果を通知する場合は、市区町村に遅くとも4週間以内に通知していれば「はい」と回答してください）	58%
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	63%
(3) 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※（内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	62%
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会※（自施設以外の胃がん専門家※※を交えた会）を設置していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか	45%
(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※	54%
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。	55%
(7) 都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	62%



検診機関：胃がん検診【胃内視鏡検査】精度管理調査（個別）	（ ○ 実 の 施 割 割 合 合 ）
1. 受診者への説明（検診の際、あるいはそれに先立って受診者全員に対して行う説明）	
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを説明しましたか。	81%
(2) 精密検査の方法について説明しましたか。（胃内視鏡検査の精密検査として生検ないしは内視鏡検査の再検査を行うこと、及び生検の概要など）	81%
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか。（※精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村や検診機関に対して提供可能（個人情報保護法の例外事項）として認められています）	79%
(4) 検診の有効性（胃内視鏡検査による胃がん検診は、死亡率減少効果があること）に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくてもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合もあること（偽陽性）など、がん検診の不利益について説明しましたか	77%
(5) 検診間隔は2年に1回であり、受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	81%
(6) 胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	74%
2. 問診、胃内視鏡検査の精度管理	
(1) 検診項目は、問診に加え、胃内視鏡検査としましたか（※受診者が、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のうち、胃内視鏡検査を選択した場合）	81%
(2) 問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか	81%
(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	81%
(4) 胃内視鏡検査の機器や検査医等の条件※は、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアル（日本消化器がん検診学会発行「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」を参照）を参考にし、仕様書※※に明記しましたか	80%
3. 胃内視鏡画像の読影の精度管理	
(1) 胃内視鏡画像の読影に当たっては、日本消化器がん検診学会による胃内視鏡検診マニュアル（日本消化器がん検診学会発行「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」を参照）を参考にを行いましたか	80%
(2) 胃内視鏡検診運営委員会（仮称）、もしくはそれに相当する組織が設置する読影委員会により、ダブルチェック※を行いましたか	81%
(3) 読影委員会のメンバー※は、日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医、日本消化器内視鏡学会専門医のいずれかの資格を取得していますか	80%
(4) 胃内視鏡画像は少なくとも5年間は保存していますか	81%
(5) 胃内視鏡検査による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	81%
4. システムとしての精度管理	
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内※になされましたか	79%
(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	81%
(3) 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果※（内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	79%
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会※（自施設以外の胃がん専門家※※を交えた会）を設置していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか	70%
(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※	71%
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか。	72%
(7) 都道府県的生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	80%

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
村上市	関川村	栗島浦村	新発田市	阿賀野市	胎内市	聖籠町	五泉市	阿賀町	三条市	燕市	加茂市	田上町	弥彦村	長岡市	見附市	出雲崎町	小千谷市	魚沼市	南魚沼市	湯沢町	十日町市	津南町	柏崎市	刈羽村	上越市	妙高市	糸魚川市	佐渡市	新潟市	合計

### 【1】検診対象者の情報管理

## 【2】受診者の情報管理

**③受診者への説明、及び要精検者への説明**

【4】精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨

**【5】地域保健・健康増進事業報告**

#### 【6】換診機関(医療機関)の質の担保

	合 計 (27項目)
--	------------

\*大項目(問1-2、問3-2、問6-1、問6-2等)が×の場合、それぞれの小項目(問1-2-1、問3-2-1、問6-1-1、問6-1-2、問6-2-1等)は×です

【7】受診率(受診者数)の推計

### ⑨要精検率の集計

【10】精検受診率、精検未受診率の集計

【11】がん発見率の集計

【12】陽性反応適中度の集計

### 【13】早期がん割合の集計

【14】粘膜内がん、非浸潤がんの集計

\* 大項目(問7-1、問9-1、問10-1、問11-1等)が×の場合、それぞれの小項目は×です

09/10/2019

A:0, B:1-8, C:9-16, D:17-24, E:25-32, F:33以上, Z:無回答

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
村上市	関川村	栗島浦町	新発田町	阿賀野町	給内市	聖籠町	五泉市	阿賀町	三条市	燕市	田上町	弥彦村	長岡市	見附市	出雲崎町	小千谷町	魚沼市	南魚沼市	湯沢町	十日町市	津南町	柏崎市	刈羽村	上越市	高崎市	糸魚川市	佐渡市	新潟市	合計	

【1】検診対象者の情報

## 【2】受診者の情報管理

**【3】受診者への説明、及び要精検者への説明**

#### 【4】精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨

**【5】地域保健・健康増進事業報告**

**【6】検診機関(医療機関)の質の担保**

**合 計 (27項目)**

調査2 精度管理指標把握に関する調査(令和4年度プロセス指標の集計)

問7-1	受診率を集計しているか
------	-------------

【9】要請検査の集計

【10】精検受診率、未受診率の集計

### 【11】がん発見率の集計

### 【12】陽性反応適中度の集計

### 【13】早期がん割合の集計

【14】結腸内がん、非浸潤がんの集計

**合 計 (26項目)**

※問1-2-1、問3-2-1を除く

B

1	村上市	2	関川村	3	栗島浦	4	新美田	5	阿賀野	6	胎内市	7	聖籠町	8	五泉市	9	阿賀町	10	三条市	11	燕市	12	加茂市	13	上町	14	弥彦村	15	長岡市	16	見附市	17	出雲崎町	18	小千谷	19	魚沼市	20	南魚沼市	21	湯沢町	22	十日町	23	津南町	24	柏崎市	25	刈羽村	26	上越市	27	妙高市	28	糸魚川	29	佐渡市	30	新潟市		合計
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----	-----	----	-----	----	------	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	--	----

### 【1】検診対象者の情報管理

[illegible]

#### 【4】精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨

【5】地城地圖・標誌地圖

【6】検診機関（医療機関）の責の所在

合 計 (27項目)	
------------	--

調査2 精度管理指標把握に関する調査(令和4年度プロセス指標の集計)

【9】要需検率の集計

【10】精液受診率、未受診率の集計

【11】がん発見率の集計

【12】陽性反応速中度の集計

【13】早期がん割合の集計

【14】粘膜内がん、非浸潤がんの集計

合計 (26項目)

	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

遵守されていない項目数  
※問1-2-1、問3-2-1を除く

B

**A**

## 胃がん検診精度管理関連指標(R2-R4)

令和6年8月末現在

		受診者数				要精検者数				がん発見数				がん発見率 (R2-R4)	陽性適中度 (R2-R4)
		R4	R3	R2	3年合計	R4	R3	R2	3年合計	R4	R3	R2	3年合計		
1	村上市	2,826	2,919	2,433	8,178	221	206	197	624	3	2	6	11	0.13	1.76
2	関川村	328	354	385	1,067	21	16	32	69	1	1	1	3	0.28	4.35
3	粟島浦村	37	40	0	77	3	4	0	7	0	0	0	0	0.00	0.00
4	新発田市	5,487	5,532	4,982	16,001	442	614	570	1,626	11	18	16	45	0.28	2.77
5	阿賀野市	1,790	1,795	1,478	5,063	121	160	120	401	5	6	5	16	0.32	3.99
6	胎内市	1,184	1,187	1,342	3,713	74	94	98	266	5	8	4	17	0.46	6.39
7	聖籠町	633	628	559	1,820	53	58	59	170	1	1	2	4	0.22	2.35
8	五泉市	2,576	2,566	1,724	6,866	95	97	70	262	8	5	5	18	0.26	6.87
9	阿賀町	600	627	628	1,855	21	27	44	92	2	0	3	5	0.27	5.43
10	三条市	4,033	4,288	4,281	12,602	213	260	324	797	9	10	9	28	0.22	3.51
11	燕市	2,643	2,705	2,365	7,713	77	101	69	247	10	8	5	23	0.30	9.31
12	加茂市	1,642	1,640	872	4,154	62	51	43	156	3	4	0	7	0.17	4.49
13	田上町	643	630	673	1,946	36	30	32	98	1	1	1	3	0.15	3.06
14	弥彦村	630	636	624	1,890	24	26	35	85	1	3	4	8	0.42	9.41
15	長岡市	8,680	8,140	6,140	22,960	250	233	196	679	13	16	7	36	0.16	5.30
16	見附市	2,432	2,398	1,693	6,523	101	104	72	277	10	6	3	19	0.29	6.86
17	出雲崎町	328	325	309	962	5	9	6	20	0	1	0	1	0.10	5.00
18	小千谷市	2,126	2,185	2,282	6,593	96	89	104	289	1	7	3	11	0.17	3.81
19	魚沼市	2,442	2,454	2,119	7,015	73	65	79	217	7	6	4	17	0.24	7.83
20	南魚沼市	3,135	3,110	2,485	8,730	100	92	89	281	5	3	3	11	0.13	3.91
21	湯沢町	410	383	326	1,119	18	22	15	55	1	0	2	3	0.27	5.45
22	十日町市	3,237	3,301	3,155	9,693	85	111	99	295	3	4	4	11	0.11	3.73
23	津南町	687	726	700	2,113	20	26	26	72	0	1	1	2	0.09	2.78
24	柏崎市	4,082	4,054	3,660	11,796	181	218	173	572	10	11	13	34	0.29	5.94
25	刈羽村	182	181	192	555	6	7	4	17	2	1	1	4	0.72	23.53
26	上越市	6,539	6,244	5,811	18,594	736	630	659	2,025	14	12	14	40	0.22	1.98
27	妙高市	1,352	1,407	1,449	4,208	140	137	135	412	1	4	1	6	0.14	1.46
28	糸魚川市	1,550	1,555	1,416	4,521	168	148	189	505	2	8	2	12	0.27	2.38
29	佐渡市	3,455	3,466	3,084	10,005	117	151	182	450	8	8	12	28	0.28	6.22
30	新潟市	39,087	39,295	36,092	114,474	1,920	2,088	1,969	5,977	172	223	160	555	0.48	9.29
	合計	104,776	104,771	93,259	302,806	5,479	5,874	5,690	17,043	309	378	291	978	0.32	5.74